

学校の在り方地区検討委員会【第2回】の意見に基づく資料 (他県の高校教育改革の事例)

本資料は、学校の在り方地区検討委員会【第2回】において、本県と同程度の生徒数の減少が見られる他県の高校改革の事例の情報を委員から求められたことから、東北地方のうち、人口増減率が本県と乖離している宮城県を除く4県の高校改革に関する計画をまとめた資料である。

1	岩手県 第3期県立高等学校再編計画（最終案）の概要	1
2	秋田県 第八次秋田県高等学校総合整備計画 概要	2
3	福島県 県立高等学校改革後期実施計画のグランドデザイン	4
4	山形県 県立高校未来創造ビジョン（案） 概要	5

I 第3期県立高等学校再編計画の策定について

第3期県立高等学校再編計画に向けた主な取組

- ・県立高等学校教育の在り方検討会議（R5～R6）
- ・中学生の進路希望等に関するアンケート（R5）
- ・地区別懇談会（R6）
- ・パブリック・コメント、子どもからの意見聴取（R6、R7）
- ・長期ビジョンの策定（R7.4月）
- ・地域検討会議、意見交換会、出前説明会（R7）

策定の趣旨

持続可能な社会の創り手、地域や地域産業を担う人材の育成を期し、学校を取り巻く様々な状況の変化に柔軟に対応するとともに、各校のスクール・ポリシーを基にした特色・魅力ある教育活動の一層の推進を図るため策定しました。

いわて県民計画(2019～2028)
岩手県教育振興計画(2024～2028)
第2期岩手県ふるさと振興総合戦略

(10年間の高校再編計画)

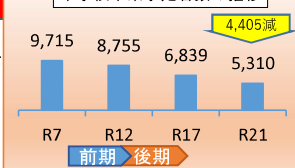


再編計画の方針

今後の本県における高等学校教育の基本的な考え方として後述する5つの柱を据え、各県立高校の役割や特色等にに応じた教育環境の構築に取り組みます。

II 現状と課題

中学校卒業予定者数の推移



1 岩手の未来を担う人材の育成

東日本大震災津波の教訓を踏まえた「いわての復興教育」の取組の推進及び「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を兼ね備え、自立し生涯にわたり学習する基盤の養成

2 高等学校の多様化への対応

社会で必要となる「共通性の確保」、生徒一人一人の特性に応じた「多様性への対応」の推進

3 少子化による生徒数減少への対応

教育の機会の保障と教育の質の保証を図り、高校の特色化・魅力化を進めた生徒の学習意欲の喚起

4 地域や地域産業と高等学校教育との関わり

学校と地域等の連携・協働による魅力ある取組の持続可能性の向上及び県内の産業動向等を踏まえた地域産業を担う人材の育成

5 専門的な知識を持つ人材の育成

現代的な諸課題に対応する資質・能力の育成及び産業界と連携した専門的な知識・技術等の習得等への取組

III 第3期県立高等学校再編計画の方針

1 全体方針（高等学校教育の基本的な考え方とする5つの柱）

- (1) 持続可能な社会の創り手となる人材の育成
これからの社会を維持・発展させていく持続可能な社会の創り手となる人材の育成に向けた教育環境の構築
- (2) 高等学校の多様化に対応、各自の希望する進路の実現
よりインクルーシブな教育環境、各自の希望する進路の実現を可能とする生徒を主語とした教育環境の構築
- (3) 教育の質の保証、教育の機会の保障
教育の質の保証に向けたICTの活用も含めた教育環境の構築、生徒の教育の機会の保障に向けた学校の配置
- (4) 地域や地域産業を担う人材の育成
地域や地域産業を担う人材の育成に向けた教育環境の構築
- (5) 大学進学率の向上や専門的知識を持つ人材の育成
大学進学率の向上や専門的知識を持つ人材の育成に向けた学力向上、キャリア形成支援に資する教育環境の構築

2 学校・学級の規模

(1) 学校規模の考え方

学校規模の大小に関わらず、各校が特色・魅力ある教育活動を展開することが重要である等とし、望ましい学校規模を設定しない。

(2) 最低規模（1学年あたり）

最低規模は2学級（総合学科高校は3学級）
普通高校の1学級校を「地域校」とする。

(3) 職業教育のセンター・スクール

農業高校は1学年4学級以上
工業高校は1学年5学級以上
商業高校は1学年4学級以上

(4) 1学級の規模

高校標準法の規定に基づき1学級40人が標準

3 学級数の増減、募集停止に関する規則及び基準

(1) 1学級校の学級増

入学志願者の数が2年連続して募集定員を超えた場合、学級増について検討

(2) 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則

入学志願者の数が1学級定員（40人）以上不足する場合、学級減について検討

(3) 1学級校の募集停止

入学志願者の数が2年連続して20人以下となった場合、原則として、翌年度から募集停止

(4) 複数の小学科・学系を併置する学校の学科・学系の募集停止

入学志願者の数が2年連続して10人以下となった場合、原則として、翌々年度から募集停止
ただし、職業教育のセンター・スクールにおいては学級減を伴わない学科改編の実施

4 通学区域（学区）

本計画の策定を踏まえ、通学区域の設定の趣旨、入学者選抜における志願状況の動向等を見ながら、今後の通学区域の在り方について検討

5 高等学校教育の充実にに向けた方策

(1) 高校の特色化・魅力化

- ・普通科改革、スクール・ポリシーを踏まえた選択的導入（遠隔教育、いわて留学（県外募集）、単位制、マイスター・ハイスクール等）について、各高校において検討
- ・各高校の探究的な学び等に関して、魅力化アドバイザーが支援等を実施、探究活動等の成果発表の場を設置
- ・地域連携コーディネーターの配置支援、資質向上、地域内外との連携強化
- ・新たな学科等の設置について、各高校において必要に応じて検討

(2) いわて留学（県外募集）

- ・高校、市町村に対して県外生徒の受入れ体制の整備等に係る伴走支援を推進
【いわて留学セミナー、地域連携コーディネーター導入講座、自治体への説明会等】

6 学校・学科の配置

県立高校の配置に関する地区割を6地区（盛岡、中部、県南、沿岸南部、宮古、県北）とし、全県的な視野に立ち適切な配置に努める。
・総合学科及び中高一貫教育の今後の在り方等について検討

IV 再編プログラム

1 全体プログラム

年度	学校数*1	学級数*1	募集定員*1	中学校卒業予定者数
R7	59	213	8,520	9,715
R8	59	209	8,360	9,609
R12	54～57	190～201	7,600～8,040	8,755
R17	44～48	142～163	5,680～6,520	6,839

*1 学級数の増減、募集停止に関する規則及び基準により、学校数、学級数、募集定員は変更となる場合がある。

2 地区別プログラム（前期プログラム）

(1) 盛岡地区

盛岡工業：R10学科改編、R12目途に校舎移転
平 館：R9 家政科学（家庭）科募集停止

(2) 中部地区

花北青雲：R10情報工学（工業）科募集停止
遠野緑峰：R9 情報処理（商業）科募集停止、R11遠野と統合
黒沢尻工業：R9 半導体関連へ学科改編

(3) 県南地区

岩 谷 堂：R10生物生産（農業）系列及び産業工学（工業）系列選択停止
金 ヶ 崎：R10水沢と統合
一関第一：R11探究関連へ学科改編
大 東：R11情報ビジネス（商業）科募集停止
杜陵奥州：R10定時制及び通信制を金ヶ崎校舎へ移転

県南工業*2：前計画の内容を維持し、統合及び新設設置に向け取り組む

(4) 沿岸南部地区

高 田：R10海洋システム（水産）科募集停止
大船渡東：R12食物文化（家庭）科募集停止
（調理師養成施設以外の学びは農芸科学（農業）科の中に維持）

(5) 宮古地区

宮古商工・宮古水産：R10校舎一体整備
宮古水産：R10・R12県内の水産及び調理師養成施設集約

(6) 県北地区

久慈翔北：R10総合学科1学級減、食物系列の調理師養成施設廃止
R12海洋科学（水産）系列選択停止

後期計画期間中の方向性

*2 県南地域に新設する工業高校（水沢工業・一関工業）

- ・盛岡地区では、大規模な統合等の検討を想定
- ・県南工業*2は、前計画の内容を維持し、統合及び新設設置に向け取り組む
- ・宮古水産は、水産及び調理師養成の学びの機能を維持することを想定
- ・種市の海洋開発科は、潜水技術の学びの機能を維持することを想定
- ・定時制課程は、通信制課程との連携や今後の在り方等について検討

前期計画期間中に予測される学級減等の時期*

R9：大迫、大野、宮古 R10：釜石、岩泉、北桜
R11：釜石商工、黒沢尻北、千厩 R12：宮古北、一関第一

* 上記及び右の表の（ ）で示された学校は、R7時点の推計による予測であり、学級減・募集停止を決定するものではない。また、記載された時期、学校は、R8以降の入学志願者数の状況により変更となる場合がある。

【再編プログラム総括表】

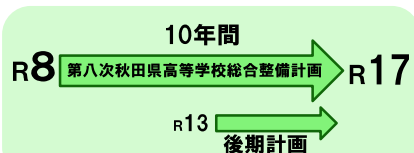
年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13～17
専門高校			宮古商工・宮古水産一体整備		盛岡工業校舎移転	水沢工業一関工業
普通科・専門学科併置高校				遠野遠野緑峰		
普通高校			水沢金ヶ崎			
定時制・通信制高校			杜陵奥州校舎移転			
学科改編		黒沢尻工業	盛岡工業岩谷堂	一関第一	久慈翔北	
系列見直し						
学科改編		平館遠野緑峰	花北青雲高田久慈翔北	大東	大船渡東	
系列等見直し（学級減）						
管理運営規則	金ヶ崎大東軽米福岡					

年度	R8	R9	R10	R11	R12
1学級校の基準		(大迫) (大野)			(宮古北)
複数の小学科・学系併置校の基準				(釜石商工)	
管理運営規則		(宮古)	(釜石) (岩泉) (北桜)	(黒沢尻北) (千厩)	(一関第一)

第八次秋田県高等学校総合整備計画 概要

No.1

令和7年12月
秋田県教育庁
高校教育課



中学3年生の数
R7 約6,700人 - R20 約3,600人(予測)
= 約3,100人減少

背景

- 先行き不透明な時代
- 少子高齢化・人口減少
- 成年年齢の引き下げ
- 多様な教育ニーズ

目指す姿のキーワード

- 豊かな心 ○高い志
- 公共の精神 ○他者と協働
- 自らの個性・能力を伸長
- 主体的に社会の形成に参画
- 国際的視野
- 多様な価値観の尊重
- 自らの考えや必要な情報を的確に表現
- グローバル社会で活躍
- ふるさと秋田への愛着と誇り
- 地域社会の持続的な発展に貢献
- 地域の課題解決に積極的に取り組む

I 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人材を育てる教育活動の推進

1 社会の形成に主体的に参画する力を育む取組の推進

- ◆生徒一人一人の資質・能力を育成し、多様な可能性を引き出す取組の推進
 - ①スクール・ポリシーを踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
 - ②自分のよさや可能性を認識できる自己肯定感の育成
 - ③情報活用能力を高める教育の充実
- ◆よりよい人生を主体的に切り拓くためのキャリア教育の推進
 - ①キャリア教育の全体計画に基づいた教育活動の充実
 - ②地域に根ざしたキャリア教育の一層の充実
 - ③個に応じた進学・就職支援体制の充実
 - ④主権者・消費者として求められる資質・能力の育成

- ◆主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善の推進
 - ①生涯にわたって能動的に学び続ける意識の涵養
 - ②学校全体で組織的・計画的に取り組む授業づくりの充実
 - ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ④教員の資質能力を高める実践的研修の充実
- ◆多様な生徒に応じた教育の推進
 - ①誰一人取り残さない学びの充実
 - ②組織的・継続的な校内支援体制の充実
 - ③専門機関と連携した生徒支援の充実

2 グローバルな視野で物事を捉え、多様な価値観を尊重して行動できる力を育む取組の推進

- ◆国際教育と国際交流活動の推進
 - ①国際教育を通じた異文化理解の推進
 - ②多様な価値観を尊重した国際交流活動の充実
 - ③グローバルな視野による本県の魅力への理解を深める取組の充実
- ◆発信力の向上を目指した外国語教育の推進
 - ①英語コミュニケーション能力を高める統合的な言語活動の推進
 - ②自らの考えや気持ちを英語で伝え合う活動の充実
 - ③大学等と連携した外国語教育の充実

3 地域への愛着と誇りを育む取組の推進

- ◆地域との持続的な連携・協働の推進
 - ①地域との信頼関係に基づいた連携・協働による取組の推進
 - ②学校の活性化に向けた組織的・継続的な取組の充実
 - ③関係機関との連携による文化活動の充実
- ◆地域について主体的に考え行動できる力を育む教育の推進
 - ①ふるさと秋田の発展に主体的に貢献しようとする意識を高める活動の充実
 - ②地域をフィールドとする探究的な学習の充実
 - ③防災・安全教育の充実
 - ④環境保全への意識の向上



1 生徒の多様な能力を伸ばすための学科等の改善・充実

◆普通科・普通系専門学科の改善と充実

- [普通] ①人生や社会の在り方と結び付けた教育活動の充実
②「総合的な探究の時間」を軸とした多様な分野における学びの充実
- [理数] ①「理数探究」を中心としたSTEAM教育の充実
②大学や産業技術・医療分野等の外部機関との連携による教育活動の充実
- [国際] ①統合的な言語活動を通じた発信力の強化
②国際教育及び国際交流活動の充実

◆職業系専門学科の改善と充実

- [農業] ①将来のスペシャリストとして必要となる基礎的・基本的な知識・技術の定着
②安全・安心な食料の生産と供給や地球規模での環境保全等の様々な課題に対応できる教育活動の充実
- [工業] ①科学技術の進展や産業構造の変化等への対応
②地域との連携及び学校・学科間連携による取組の充実
- [商業] ①産業界で必要とされる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実
②地域や産業界と連携した実践的・体験的な学習活動の充実
- [水産] ①本県の水産業の実情に即した教育活動の充実
②本県の水産資源を維持・増殖していくための関係機関と連携した水産教育の充実
- [家庭] ①生活産業に主体的に関わるための実践的な教育活動の充実
②社会の変化や社会の要請に対応した家庭科教育の充実
- [情報] ①専門的な知識・技術を基に情報産業に対する理解を深める教育活動の充実
②地域、産業界、大学等との連携による取組の充実
- [福祉] ①専門的な知識・技術及び倫理観を高める教育活動の充実
②地域に関わる実践的な教育活動の充実

◆総合学科の改善と充実

- ①「産業社会と人間」を核とした教育活動の充実
- ②外部人材や地域の企業等を活用した取組の推進

◆中高一貫教育の改善と充実

- ①6年間の計画的・継続的な教育活動の充実
- ②中高一貫教育校間の連携した取組の推進

◆専門学科における実習設備の改善と充実

- ①地域の企業等と連携した実習設備の活用
- ②専門教育の充実に向けた実習設備の更新
- ③新しい技術に対応した実習設備の新規導入

3 定時制課程・通信制課程の改善・充実

◆多様な学習ニーズに応える定時制課程・通信制課程の改善と充実

- ①生徒の実態を踏まえた教育活動の充実
- ②多様化・複雑化する生徒の実態に対応した教育環境の整備
- ③フリースクールの空間(スペース・イオ)における学習支援の充実

◆生徒一人一人の学びを支援し、自立を目指す教育活動の推進

- ①自己を理解し、自己決定・自己調整できる力の育成
- ②キャリア教育の一層の充実
- ③特別な支援を必要とする生徒への対応の充実

2 全日制課程における学校規模の適正化と望ましい配置の実現

◆生徒数の減少や各学科の地域バランスを踏まえた学級減の実施

- 学校の特色や適正規模、望ましい配置に配慮
- 普通科、専門学科、総合学科の割合及びその地域バランスを考慮した学級減

◆学校の統合等再編整備の実施

- 多様な個性との出会いや社会性の育成
- 教職員数の確保による教育課程の充実
- 教育効果を最大限高める観点から1学年4～7学級を適正規模
- 1学年3学級の高校は直ちに統合等を進めず十分な検討を実施

統合等再編整備の進め方

- ・特別な事情がない限り、使用可能な校舎を利用することを原則とする。
- ・入学者数が減少し、高校としての活力ある教育活動の継続が難しくなった場合には、基準を適用する。

◆各地区の統合等再編整備構想案

□統合等再編整備を実施する。

- ・男鹿市2校【男鹿海洋高校、男鹿工業高校】→ 男鹿海洋高校敷地に令和11年開校予定
- ・横手市3校【平成高校、雄物川高校、増田高校】→ 増田高校敷地に令和13年開校予定

□本計画期間中に地域と協議を行い、具体的な統合等再編整備構想案を示す。

- ・大館市3校【大館鳳鳴高校、大館桂桜高校、大館国際情報学院高校】→ 2校
- ・能代市3校【能代高校、能代松陽高校、能代科学技術高校】→ 2校
- ・由利本荘市4校【本荘高校、由利高校、由利工業高校、西目高校】→ 2～3校
- ・大仙市3校【大曲農業高校、大曲高校、大曲工業高校】→ 2校
- ・横手市3校【横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校】→ 2校
- ※能代市は、早期の対応が必要になると予想される。
- ※定時制課程や県立中学校の今後の在り方についても検討する。

□1学年1学級の学校(地域校を含む)や募集停止の基準を適用する。

- ・矢島高校
- ・西仙北高校
- ・大曲農業高校太田分校

□地域の関係者や当該校と学校の活性化や今後の在り方について協議を行う。

- ・五城目高校
- ・湯沢翔北高校雄勝校

□入学者数の推移を見極めながら、今後の方向性について検討していく。

- ・仁賀保高校
- ・六郷高校
- ・羽後高校

基準

- ア 1学年2学級の学校において、入学者数が募集定員の2/3以下の状態が2年間続いた場合、1学年1学級の学校(地域校を含む)や募集停止等を検討する。
- イ 1学年1学級の学校(地域校を含む)において、入学者数が募集定員の1/2以下の状態が2年間続いた場合、募集停止を検討する。
- ※ なお、上記ア、イは、一律に適用するものではなく、地域の中学生の高校進学への影響や地域でその学校が担っている役割を十分に考慮しつつ、必要に応じて地域の関係者や当該校と、学校の活性化や今後の在り方について協議を行うものとする。

すべての県立高校で改革に取り組みます

基本計画の基本方針を踏まえて、本県の県立高校全体の質的向上に向けた取組と、社会の変化に対応した魅力ある教育環境づくりのための取組を示しました。本県の高等学校を取り巻く状況が大きく変化中、統合などの再編整備のない学校も含めて、県立高等学校全体で改革を推進していきます。復興への歩みをテーマとした探究的な学びなどの「福島ならではの教育を実践し、多様な人々との対話や協働の大切さを学びながら、福島に誇りを持ち、社会や地域を創造できる人材を育成します。」

県立高校の特色化を推進します

これからの高校に期待されるミッション（社会的役割）や育てたい生徒像を改めて整理し、すべての県立高校を6つの学校群のいずれかに位置づけ、各校の特色化を推進していきます（下図参照）。

検討する特色化の例	〇 地域との連携の強化、探究的な授業の展開	〇 普通科におけるコース制（教育プログラム）の推進
<ul style="list-style-type: none"> STEAM教育※などの教科横断型学習の充実 特色ある学科の設置 新たな併設型中高一貫教育校の設置 <p>令和7年度を目標に、安積高等学校に併設中学校を開設。</p>	<p>自治体や地元企業等と連携した地域課題探究学習を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> 統合校における特色ある教育の推進 <p>SDGsに取り組む教育活動等における高大連携を強化。多様な進路希望に合わせた学習指導や進路指導を展開。様々な資格取得、検定合格への支援を充実。</p>	<p>医学、保健・医療、教育、福祉の4コースを開設。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業系専門学科の充実 <p>福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成の取組成果の共有、大学や地域企業等との連携を強化。</p>

※ STEAM教育 科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、哲学・芸術・歴史などの教養（Art・リベラルアーツ）、数学（Mathematics）の諸領域・各教科等を横断しながら、実社会での課題発見・解決に必要な本質を見抜き考える力や新たな価値を生み出す創造力等を育む教育。

STEAM教育が注目される背景 実社会での課題を解決するためには、複数の分野の知識や技能を結びつけた創造的な発想が必要。（例）環境に優しく、かつデザイン性に優れた車のデザイン——技術・工学・芸術 自然災害に強い街づくりの実現——科学・工学・哲学 などに関する横断的な学びが有効

県立高校の再編整備を推進します

望ましい学校規模を1学年4～6学級として県立高校の統合を推進します。令和5年度全日制74校、定時制・通信制7校が、後期実施計画最終年度の令和10年度には、全日制70校、定時制・通信制7校となる予定です。

後期実施計画期間中の再編整備

学校名	令和5年度の学科1学年当たりの学級数	実施予定年度	再編の方向性(学科・学級数)		
福島西	普通4 デザイン科学1	5	R9	探究(仮称)1 デザイン科学1 総合4	6
福島北	総合	4			
船引	普通	3	R8	総合	4
小野	総合	2			
平商業	商業	4	R8	商業4 情報1	5
四倉	普通	2			
いわき総合	総合	5	R7	総合	6
好間	普通	2			

1学級本校化

学校名	令和5年度の学科1学年当たりの学級数	実施予定年度	方向性
石川	普通	2	R6 普通

基本計画期間中において削減する学級数(見込み)

	県北	県中	県南	会津	いわき	相双	全县
前期	12	10	3	10	7	2	44
後期	7	9	3	8	6	3	36
計	19	19	6	18	13	5	80

県立高等学校改革後期実施計画のグランドデザイン

—基本計画に基づく高校改革の全体像—

〔※ 後期実施計画最終年度(令和10年度)の各校の位置づけなどを示す。〕
〔※ 四角圏内の学校は、統合予定の高校である。〕

本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくり・生徒の資質や能力を伸ばさせる魅力ある高等学校づくり

- 〇様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進
- 〇多様な学習内容の提供及び教育の質の向上

➡ 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力の育成

進学指導拠点校 (4校) 福島・安積・会津・磐城

ミッション 県内の学習指導、進学指導を牽引するリーダー校として、進学指導重点校との連携による教育力向上の推進。難関大学及び医学部志望者の進路実現。

育てたい生徒像 国内外で各分野のトップリーダーとして活躍する、未来を牽引できる人材。

安積中学校・高等学校(仮称)併設型中高一貫教育校

進学面で高い志を持った生徒の進路実現に対応する6年間を見通した体系的な教育活動の推進。

進学指導重点校 (16校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
橋 福島西・福島北 統合校 福島東	安積黎明 郡山東 郡山 須賀川桐陽	白河 白河旭	葵 会津学風 喜多方	磐城桜が丘 いわき光洋	相馬 原町

ミッション 授業の質の向上及び進学指導の充実と、進学指導拠点校との連携による生徒の進路希望実現。

育てたい生徒像 各分野のリーダーとして活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

キャリア指導推進校 (16校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
福島南 伊達 (梁川・保原) 安達 本宮	あさか開成 須賀川創英館 田村 船引・小野 統合校	光南	会津西陵 南会津 (田島・南会津)	いわき総合・好間 総合校 ふたば未来学園 いわき湯本 勿来	相馬総合

ミッション 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実による、就職から大学進学までの進路希望実現。

育てたい生徒像 地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

ふたば未来学園

「地域との協働による高等学校教育改善事業」(ア)～(カ)型 指定校としての取組や関係機関との連携

アクティブラーニング及び探究的な学びの先進校として、成果を他校と共有し、具体的な手法や評価法などについて普及・発展させる。

職業教育推進校 (21校)

県北	県中	県南	会津	いわき	相双
福島商業 福島明成 福島工業 二本松実業 二工林・雙葉	郡山商業 郡山北工業 清陵情報 岩瀬農業	白河実業 (白河実業・第一工) 修明	若松商業 会津工業 喜多方桐桜 会津農林 (期前農業・会津農林)	平工業 平商業・四宿 統合校 小名浜海星 磐城農業 勿来工業	相馬農業 小高産業技術

ミッション 大学や地域企業等との連携による実践的な職業教育の充実と、企業への就職や職業系学部などへの大学進学を実現する地域の産業振興や福島の復興を支える人づくりの推進。

育てたい生徒像 各分野のリーダーや地域産業を支える核として活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

小高産業技術

SP1指定校としての実績や「マイスター・ハイスクール事業」

最先端の実践教育や他機関との連携などにより得られた知見及び成果を他の職業高校と共有し、普及・発展させる。

地域協働推進校 (7校) 川俣・湖南・石川・猪苗代・西会津・川口・只見

ミッション 地域との協働による教育活動の充実と、地域社会を支える人づくりの推進。

育てたい生徒像 地域創生の核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

定時制・通信制高校 (7校)

定時制	通信制
福島工業(定)・ふくしま新世・郡山萌世(定)・白河第二・会津第二・いわき翠の杜	郡山萌世(通)

ミッション 生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育活動とキャリア教育による生徒の進路希望実現。

育てたい生徒像 意欲を持って学習や学校生活に取り組み、主体性や社会性を身に付けて、社会に貢献できる人材。

相双地区休校等 (6校) 双葉・浪江・浪江津島校 富岡・双葉翔陽 相馬農業館校

今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況等を考慮しながら、今後の在り方を検討。

社会を取り巻く環境

- 変化の激しい社会・不確実性
- 急速な人口減少・少子化
- Society5.0の到来予測
- グローバル社会の進展

第7次山形県教育振興計画 目標「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」

- | | | | |
|--------------------------|--------------------|--------------------|----------------|
| 県立高校の将来の在り方を検討する上でのキーワード | > 予測困難な時代を生き抜く力の育成 | > 誰一人取り残さない教育 | > 地域を支える担い手の育成 |
| | > 時代の進展に対応した学び | > 県立高校のさらなる魅力化・特色化 | > 快適な学習環境の整備 |

I. これからの県立高校を考える上での視点

- 少子化による生徒数の減少をマイナスのみに捉えず、教育の質と学びの多様性の確保
- 多様な地域資源を活用し、実社会での学びを生かした人材育成
- デジタル技術の高度化や多文化共生など、時代の進展に対応した新しい学びの創設
- 高校の特色化を推進し、学校に関わる全ての魅力を広く周知

II. 県立高校が取り組む教育の重点

1 全ての生徒の可能性を引き出す教育

- ◆ 基礎的・基本的な学力の定着に向けた、**生徒一人ひとりに適した学びの実現**
- ◆ 主体的かつ協働的な学びを実践する**探究学習の充実**
- ◆ 多様化・複雑化する**生徒の実態と学びのニーズに対応した教育の充実**

2 地域を支える人づくり

- ◆ 自分の将来に夢を持ち、社会的・職業的自立を図るための**キャリア教育の充実**
- ◆ 社会を生き抜く実践的な知識や技能の習得に繋がる、**地域と協働した教育の推進**
- ◆ 持続可能で活力ある地域社会を支える、**地域の産業人材を育成する教育の推進**

3 新しい時代への対応

- ◆ 最先端のAIやデータサイエンスなどを含む新たな学びの創設や、高度なデジタルスキルを備えた人材の育成に向けた**教育DXの推進**
- ◆ 多文化共生社会の中で活躍できる人材の育成等に向けた**グローバル教育の推進**
- ◆ 生徒の適性や能力、興味・関心を踏まえた学びを可能とする、**柔軟な普通科教育の推進**

4 魅力ある学校づくり

- ◆ 教育活動の重点や育成を目指すべき人物像の明確化、小・中・大学等との連携や県外生受入れの推進等による**学校の魅力化・特色化の推進及び効果的な情報発信**
- ◆ 学校教育施設・設備の更新や充実、生徒へのサポート体制の充実等による、**安全安心で快適な学習環境の整備**
- ◆ ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、安心して働き、研鑽を積み、**教職員が力を発揮できる環境づくり**

III. 県立高校の在り方に関する基本的な方向性

(1) 入学定員の設定

- ◆ 中学校卒業見込者数の推移や中学生の志願状況、私立高校の配置状況等を考慮
- ◆ 市町村に唯一所在する小規模校は、その特性や社会的役割を考慮

(2) 学級数等の取扱い

- (ア) 1学年当たり4～8学級を確保することを基本
1学年当たり4学級を下回る学校は、遠隔授業や地域との連携により、教育環境の充実に努める
- (イ) 入学者数が入学定員から1学級分を減じた数以下の年度が2年連続した場合、その翌年度から入学定員を1学級減じる
- (ウ) 職業に関する専門学科（以下「産業系学科」という。）は、各地域の産業の担い手育成のため、上記（イ）の基準は適用しない
1学級当たりの定員については、40人を基本としながら、学びの分野の維持や質の向上等の観点から柔軟に設定

(3) 市町村に唯一所在する1学年当たり1学級の県立高校の取扱い

- (ア) 市町村に唯一所在する1学年当たり1学級の学校は、本ビジョンの期間中、所在市町村との連携のもと、学校の維持を基本
- (イ) 入学者数が3年連続して入学定員の2分の1に満たない場合は募集停止を検討
募集停止の検討にあたっては、交通事情等地域の実情や存続に向けた所在市町村の主体的な関わり方を十分考慮
検討の結果募集停止が決定した場合は、これを公表した年度の翌々年度に実施する入学者選抜から募集停止

(4) 課程・学科の配置及び学校・学科の特色化に向けた方向性

①普通科系学科

- ◆ 大学進学に向けた指導体制を確保するため、進学指導を充実できる規模の学校を8地区全てに少なくとも1校は配置
- ◆ これからの産業構造の変化を見据えた学科やグローバル社会に対応した学科、市町村等と連携して地域創生に向けた取組みを実践する学科など、新たな学科・コース等の創設を検討
- ◆ 必要に応じて、普通科高校の再編(産業系学科も含めた専門学科との併設を含む)についても検討

②産業系学科

- ◆ 本県産業を支える人材育成の場を確保するため、各地域の産業構造やニーズ等を踏まえた専門学科を4学区(東・西・南・北)に配置
- ◆ 生徒数の減少に関わらず、学びの分野の維持に努める
- ◆ 必要に応じて普通科も含めた他学科との再編統合を検討

③総合学科

- ◆ 生徒の興味・関心に応じた選択性の高い学びを提供するため、総合学科を4学区全てに少なくとも1校は配置
- ◆ 必要に応じて普通科も含めた他学科との再編統合を検討

④定時制・通信制

- ◆ 生徒の多様な学習ニーズに対応し、柔軟で個別最適な学びの場を提供するため、定時制を4学区全てに少なくとも1校は配置するとともに、通信制について、生徒の効果的な学習や、通学の便等に考慮したサテライト校等の配置の必要性について研究

⑤中高一貫教育校

- ◆ 地元市町村立中学校への影響等を考慮し、内陸、庄内のモデル校2校を参考に、地域の声を聞きながら丁寧に検討

⑥小規模校

- ◆ 参集型の授業に加え、遠隔・オンライン授業を活用したハイブリッド型の授業の推進により、多様な価値観に触れる学校間連携を強化
- ◆ 地域の高校として、地域と協働した探究学習やキャリア教育を推進
- ◆ 多様な価値観を持つ生徒の交流や、地域の活性化に向けた県外生の受入れを推進

(5) 県立高校の配置に関する各地区の方向性

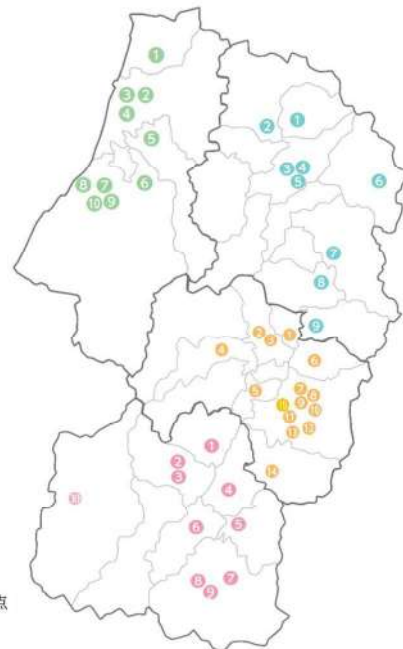
- ◆ 各地区の入学定員の設定に当たっては、中学校卒業生数の推移、私立高校の配置状況、公立の小規模校や定時制の配置状況、地区間の通学の状況等の地域の実情を十分に考慮し、学区ごとに検討委員会を設置して順次検討
- ◆ 1学年当たり1学級の小規模校は、検討委員会での検討とともに、別途地域との意見交換を実施

- ①遊佐高等学校
- ②酒田西高等学校
- ③酒田光陵高等学校
- ④酒田東高等学校
- ⑤庄内総合高等学校
- ⑥庄内農業高等学校
- ⑦鶴岡中央高等学校
- ⑧加茂水産高等学校
- ⑨致道館高等学校
- ⑩鶴岡工業高等学校

- ①荒砥高等学校
- ②長井工業高等学校
- ③長井高等学校
- ④南陽高等学校
- ⑤高阜高等学校
- ⑥置賜農業高等学校
- ⑦米沢鶴城高等学校
- ⑧米沢東高等学校
- ⑨米沢興譲館高等学校
- ⑩小国高等学校

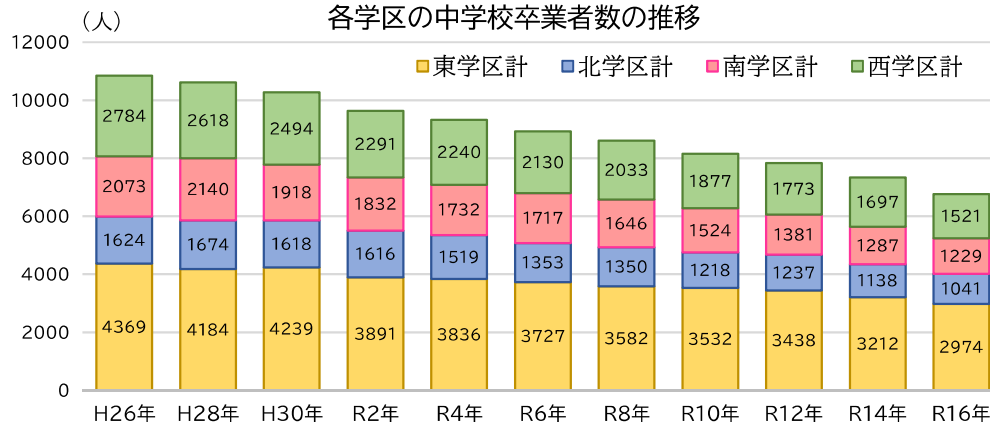
- ①新庄南高等学校 金山校
- ②新庄神室産業高等学校 真室川校
- ③新庄北高等学校
- ④新庄南高等学校
- ⑤新庄神室産業高等学校
- ⑥新庄北高等学校 最上校
- ⑦北村山高等学校
- ⑧村山産業高等学校
- ⑨東桜学館高等学校

- ①谷地高等学校
- ②寒河江工業高等学校
- ③寒河江高等学校
- ④左沢高等学校
- ⑤山辺高等学校
- ⑥天童高等学校
- ⑦山形工業高等学校
- ⑧山形北高等学校
- ⑨山形東高等学校
- ⑩山形南高等学校
- ⑪霞城学園高等学校
- ⑫山形中央高等学校
- ⑬山形西高等学校
- ⑭上山明新館高等学校
- ⑮山形市立商業高等学校



※配置図はR7年4月時点

各学区の中学校卒業生数の推移



※R6以降は「令和5年度学校基本調査速報」等による予測値

